



## タージマハルホテルとインド門

タージマハルホテルはインド最大の財閥であるタタグループの創始者ジャムシェトジー・タタにより 1903 年に建てられたインド有数の高級ホテルです。当時の最先端技術であった発電機や昇降機などの設備が導入され、造形の美しさの高い利便性を兼ね備えています。インド門は 1911 年の英国王ジョージ 5 世の来印を記念して建てられ、旧植民地時代の象徴的な存在とされています。この二つの建物はインド西岸の半島都市ムンバイの南端に海に向かって並んで建てられています。



世界の地域から

## デリー・ムンバイ (インド)



### フユマーン廟

ムガル帝国の第 2 代皇帝フユマーンの墓で 1565 年に妻のハージ・ベーカムによって築られました。赤と白の砂岩、黒と黄色の大理石で作られており色合いのコントラストが美しく、インド・イスラム建築の傑作とされ 1993 年に世界遺産に認定されました。幾何学的な文様や左右対称な建築様式は後のタージ・マハルにも影響を与えたと言われています。